

第16回「議員と語りかい」報告書

総務文教委員会

開催日時	平成27年8月19日（水） 午後2時00分 ～ 午後3時20分		
開催場所	議会棟 第1委員会室		
団体名	霧島市文化協会	参加人数	14人 (男9人：女5人)
出席議員	池田 綱雄、 有村 隆志、 平原 志保、 阿多 己清、 中村 正人、 松元 深、 塩井川 幸生、 池田 守、 前川原 正人		
役割分担	委員長（池田 綱雄） 副委員長（有村 隆志） 記録係（阿多 己清）		
テーマ及び具 体的な内容	① 文化協会への将来的な支援について ② 市文化向上への文化協会の協力体制について ③ 文化会館、美術会館等、文化の拠点となる施設の確保について		
感想	<p>・文化協会は市で一本化はされているものの、会員確保やかねての活動等は、それぞれ旧市町単位が中心となっている。地域の特色もあることから各地区での活動は継続したいとの強い思いを感じた。</p> <p>・各地区の会員も年々高齢化してきており、団体数、会員数も減少している中、さらには補助金削減もあり、文化祭等の運営を含め、支部運営もままならないとの発言もあった。文化の香りの高いまちづくり、地域の活性化のために、一生懸命に文化活動等はされているが、後継者育成や会員確保など、切実な問題だと思った。</p>		

◆は参加者の質問・要望 ◇は議員の回答

<意見交換会での主な意見等>

◆1点目の支援については、最初のころは行政主導で社会教育指導員や職員と一緒にいろいろな関係行事を開催していたが、合併で協会を一本化した。事務局は文化振興課に置き、行政の協力をもらい一緒に取り組んでいる。県は知事部局に事務局を置いているが、本市は教育委員会である。しかし各支部の組織も衰退化してきている。自分たちだけではできないので、将来的にも現在のような形で行政に協力をもらいたい。2点目の文化向上への文化協会の協力体制については、いろいろな団体が実施しているが、主としては文化協会が担っていると思う。合併により各支部の協会、特に周辺部は衰退化してきている。牧園などは3団体しかないが、文化祭を実施するなど頑張っている。今後も支援をお願いしたい。3点目の文化の拠点となる施設の確保について、文化協会が西郷公園内の常設展示を行っている。内山事務局長が担当している。美術関係者からも美術館の要望もある。今後は心の時代、文化の時代を大事にするような施設がほしいので、今後検討してほしい。

◆文化会館がない。今の市民会館は舞台が狭い。設備も古く乏しい。舞台、展示場など、いろいろと一緒にできる施設がほしい。

◇国分の市民会館は、平成10年頃立替えの話もあったが60億円とか多額な経費になり、10数億円の改修事業を選択した。本当は1500席以上の新施設になればいいが、市の公共施設マネジメント計画等をみると現実的にはかなり難しいと思う。

◇市長などに要望などはしていないのか。

◆毎年、総会に市長に出席してもらい、要望事項を提出している。市長から議会にも要望しておいてと言われたので、本日項目に入れた。

◇国分の市民会館は、昨年度3千万円から4千万円をかけてすべての袖幕を改修したので、早急な施設建設は難しいと思う。

◇文化協会等の要望を受けて市の考えは、郷土館等も含めて文化系施設全般の今後のあり方を、今後3年間をかけて議論することとしている。委員には文化協会の代表者も入れるとのこと、その中で将来を見据えて議論していきたいとのことだった。

◆本市は道義高揚宣言都市で、しかも総務文教委員会は文化の中心の方々と思う。「文化の香りのするきりしま」として、市民の機運を高めてほしい。

◇福山には、松下美術館がある。ここには黒田清輝とか有名な画家のものが展示されて一つの観光名所となっている。要望の施設は美術館がいいのか、博物館なのか、文化施設も幅が広い。市の文化協会は踊りとか郷土芸能もあるがどういうところまでの範囲なのか。

◆市民会館等での舞台発表、生け花とか書道とか展示をしていた団体が組織化したものである。それに地域を代表するような独自のものも入ったりしている。

◇横川や隼人の方で、将来的な支援についてもう少し詳しく説明してほしい。

◆横川は人口も減り、文化的なことをしようと思っても日常的なことが精一杯で参加もできない。高齢化もあり、若い人たちの考えもあるが、そろそろ若い人を育てていかないと心配だ。例えば活発にやっている所から来てもらって指導するなり人的な支援をお願いしたい。

◇横川は団体数も会員数も一番減少しているが何かあるのか。

◆高齢化と若い方々の参加がないことが主な原因である。

◆隼人支部会計を担当している。平成19年は団体数も60ほどで補助金も593千円だったが、現在は353千円で、市の負担金を払い、実質271千円となる。文化祭の費用が270千円で、差し引くと運営費もない状況だ。だからチャリティーショーを開催し、わずかの益金を資金源としている。高齢化で新加入がない。会員が国分に移る方もおり、大変だ。とにかく経費がほしい。

◇ほかの支部では何かないか。

◆溝辺では事務局は会員を立てているが、全面的にできず実質は教育委員会の指導員に世話してもらっている。是非とも今後もお願いしたい。

◆合併時に事務局を自分たちに任された。急に言われ、どうしていいか分からなかった。もう少し行政に加勢してほしい。すべて女性だけで運営している。単独でするのは無理だ。

◆合併と同時に独立させられた。自分たちはボランティアでやっている。職員にもよるが、支部でも温度差がある。文化祭開催も大変だ。金を出さないのなら一緒に汗をかいてほしい。議会からも行政に活を入れてほしい。

◆行事をする際の手伝いは職員にもお願いしているが、心配しているのは経費の面だ。支援をお願い

したい。

◇合併前はどうかだったのか。

◆国分であるが、予算的には、確かに合併前は良かった。文化祭経費は別途にあったし。今は会員数も団体数も減っている。1人当たりの金額は国分が一番少ないと思う。

◆教育委員会からのサポートはかなりもらっている。個人的には行政に頼らない。できるだけ自分たちだけでやろうと思っている。

◇金銭だけではないという話もあったが、結局は金銭の支援がほしいと聞こえた。これらを受けて委員から意見はないか。

◇平成19年度から現在まで約100万円減となっているが、支部でまちまちで国分はいいが周辺部はだめだと意見を言われた。協会が一本化されているのに、統一する考えはないのか。

◆合併して協会を一本化した。各地区の盛り上がり、地域の文化を活性するためにも各支部を残して良かったと思っている。支部がなくなれば地域の文化は衰退していくと思う。

◇支部の解体の話ではない。運営費の問題、職員の支援について、協会で統一したものは、一本化する考えはないのかということである。

◆補助金は一つである。協会が受けて、会員数や団体数で按分してやっている。

◇高齢化で中間層がないということだった。例えば新しい文化団体を作った場合、文化協会加入のメリットは何か。

◆協会に加入してもらおうと発表の場が多くなることである。発表の場、出演の場ができるということで加入される例が一番多い。会場借上げ料も自分たちだけでは高くなる。年会費で4千円、5千円となるが、6月のチャリティー、11月の文化祭、それと芸術祭、さらには始良地区の芸術祭もあるし、そういう発表の機会が増えるのが一番のメリットだと思う。

◇今まで話を聞いたが、最終的には人と金の問題だと認識した。会員等の署名を添えて議会と市長に強い要望をしたらどうかと思った。

事務局長よりお願い

◆各支部は、毎年11月を中心に文化祭等を実施している。そのほか9月6日に文化講演会も実施する。少しでも文化の香りを市民に届けたい。都合をつけてぜひとも参加してほしい。

◇補助金については、合併直後からすれば、かなり削減されていると感じた。文化協会だけでなく、体育協会やいろいろな各種団体があるので、これらの団体も同じように削減の影響が出ていると思う。補助金は毎年5%削減などの方針がある中で、いかに主管課が頑張るかだと思う。主管課長の頑張りに期待したい。

新市民会館建設の必要性は感じるが、すぐには無理がある。長期ビジョンの中で計画していけるように、議会としても声を上げていきたい。